

# 石綿障害予防規則第 46 条の 2 第 1 項の規定に基づく 石綿分析結果報告書

(JIS A 1481-1(ISO 22262-1)及び JIS A 1481-4(ISO 22262-2)を想定した様式)

実施した石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。

分析を実施した者の氏名又は名称 \_\_\_\_\_

## 記

### 1. 製品の名称及び型式

製品の名称		製品の型式	
-------	--	-------	--

### 2. 分析に係る試料を採取した製品のロットを特定するための情報

ロット番号及びこれに類する記号番号等 (ロットを構成しない製品の場合は、製造年月日及び製造番号)	
---	--

### 3. 分析の日時

分析の日時	年 月 日 時 ~ 年 月 日 時
-------	-------------------

### 4. 分析の方法

分析の方法	
-------	--

### 5. 分析を実施した者の氏名又は名称

氏名 (法人の場合は名称)		法人の場合は 代表者氏名	
所在地	TEL :	FAX :	

### 6. 石綿の検出の有無及び検出された場合にあってはその含有率

#### 【定性分析結果】

偏光顕微鏡による定性分析結果		石綿以外で 確認された繊維	詳細は別添定性分析 データを参照
石綿の種類	推定石綿質量分率		
	検出 ・ 0.1-5% ・ 5-50% ・ 50-100%	有 ・ 無	

#### 【定量分析結果】

残渣率 (重量%)	石綿の種類	石綿の重量%	定量下限	詳細は別添定量分析 データを参照

## 備考

- 1 1の「製品の名称」には、輸入後に販売の用に供し、又は営業上使用する場合における名称を記載すること。
- 2 1の「製品の型式」には、輸入する製品の型式を特定できる記号番号等を記載すること。
- 3 2の「分析に係る試料を採取した製品のロットを特定するための情報」については、輸入する製品に係るロット番号等を記載すること。なお、「ロット」は、「一の製造期間内に一連の製造工程により均質性を有するように製造された製品の一群」をいうものであり、いわゆる「製造ロット」又は「原料ロット」等と称されることがあること。
- 4 4の「分析の方法」には、JIS A 1481 シリーズ1から4まで、ISO 22262 シリーズ1及び2、「建材中の石綿含有率の分析方法について」（平成18年8月21日付け基発第0821002号）の記の2に定める分析方法※又は外国の政府機関が定めた製品（バルク）中の石綿含有率に係る分析方法のうち、該当する分析方法を記載すること。  
※ 「位相差顕微鏡を使用した分散染色法による分散色の確認」による分析方法（定性分析に限る。）又は平成26年3月31日に廃止されたJIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による分析方法
- 5 5の「分析を実施した者」については、当該者に係る次のいずれかの書面（有効期間内のものに限る。）の写しを添付すること。
  - (1) 石綿障害予防規則第三条第六項の規定に基づき厚生労働大臣が定める者等（令和2年厚生労働省告示第277号。以下「分析調査者告示」という。）第2条の分析調査講習を受講し、同条第4号及び第5号の修了考査に合格したことを証する書面。なお、当該書面には、分析調査者告示第2条第3号に掲げる分析の実施方法に係る実技講習のうち、修了したものが明記されていること。
  - (2) 次の①から⑤までに定める資格に係る認定、修了、登録等を受けたことを証する書面。
    - ① 公益社団法人日本作業環境測定協会が実施する「石綿分析技術評価事業」により認定されるAランク若しくはBランクの認定分析技術者又は定性分析に係る合格者
    - ② 一般社団法人日本環境測定分析協会が実施する「アスベスト偏光顕微鏡実技研修（建材定性分析エキスパートコース）」の修了者
    - ③ 一般社団法人日本環境測定分析協会に登録されている「建材中のアスベスト定性分析技能試験（技術者対象）合格者」
    - ④ 一般社団法人日本環境測定分析協会に登録されている「アスベスト分析法委員会認定 JEMCA インストラクター」
    - ⑤ 一般社団法人日本繊維状物質研究協会が実施する「石綿の分析精度確保に係るクロスチェック事業」により認定される「建築物及び工作物等の建材中の石綿含有の有無及び程度を判定する分析技術」の合格者
  - (3) ISO/IEC 17025 に適合している旨の認定（試験方法の区分が製品（バルク）中の石綿に係る試験に係るものに限る。）を受けたことを証する書面。
- 6 6の「石綿の種類」には、検出された石綿の種類（クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト又はアンソフィライト）を全て記載すること。いずれの石綿も検出されなかった場合には、【定性分析結果】の「石綿の種類」にのみ「無検出」と記載し、【定量分析結果】の記載は不要であること。なお、推定石綿質量分率の報告区分についてはJIS A 1481-1（ISO 22262-1）を参照のこと。

## 1. 実体顕微鏡の形式

実体顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	
	形式	
倍率		

## 2. 偏光顕微鏡の形式

偏光顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	
	形式	
コンデンサ		
対物レンズ（倍率）		
分散対物レンズ		

## \* 電子顕微鏡の形式

電子顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	
	形式	
フィラメント		
加速電圧		
倍率		
最大傾斜角		
EDX検出器の製造業者・形式	製造業者	
	形式	

## 3. 試料採取履歴（詳細）

採取年月日	年	月	日	試料 No.	
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、採取方法)	形状又は材質				
	試料の大きさ				
	採取方法				

## 4. 試料調製の状況

試料調製の実施の有無	有	無
「有」の場合の調製方法		

## 5. 実体顕微鏡観察の結果

前処理の実施の有無	有 無
「有」の場合の前処理方法	灰化 酸処理（酸種類： ） 浮遊沈降 その他（ ）
層構造の有無	有 無
層の記載（色・状態）	層1（ %） 層2（ %） 層3（ %） 層4（ %）

## 6. 分析条件

### 6.1 分析室の温度

分析室の温度(°C)	
------------	--

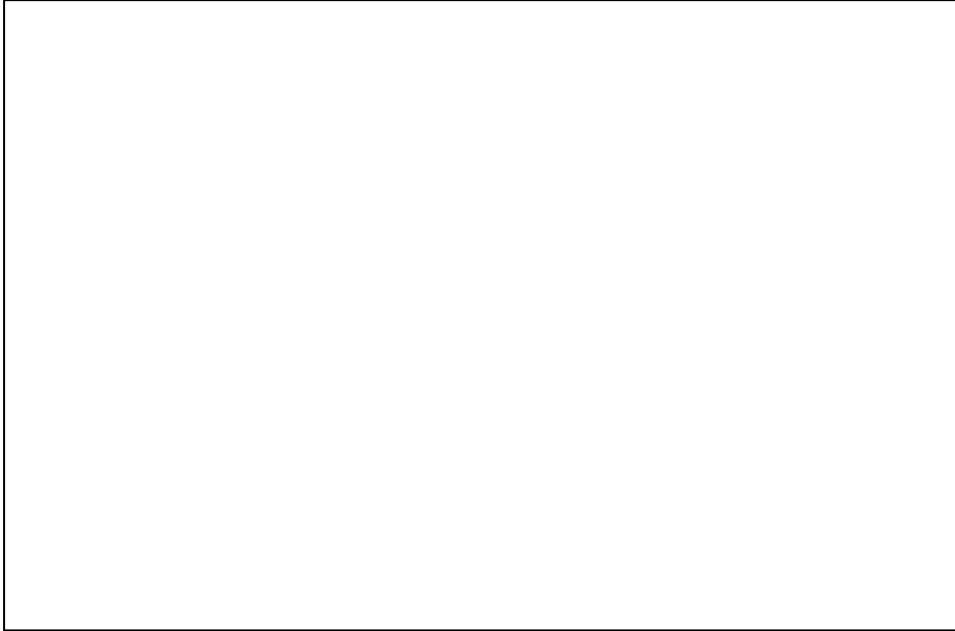
### 6.2 層別の分析結果

	石綿の有無	検出された石綿の種類（推定質量分率）			
層1	有・無	クリソタイル（ ） トレモライト（ ）	アモサイト（ ） アクチノライト（ ）	クロシドライト（ ） アンソフィライト（ ）	
層2	有・無	クリソタイル（ ） トレモライト（ ）	アモサイト（ ） アクチノライト（ ）	クロシドライト（ ） アンソフィライト（ ）	
層3	有・無	クリソタイル（ ） トレモライト（ ）	アモサイト（ ） アクチノライト（ ）	クロシドライト（ ） アンソフィライト（ ）	
層4	有・無	クリソタイル（ ） トレモライト（ ）	アモサイト（ ） アクチノライト（ ）	クロシドライト（ ） アンソフィライト（ ）	

### 6.3 試料全体の分析結果

石綿の有無	有 無				
クリソタイル	無検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アモサイト	無検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
クロシドライト	無検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
トレモライト	無検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アクチノライト	無検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
アンソフィライト	無検出	検出	0.1-5%	5-50%	50-100%
石綿以外で確認された繊維					
コメント					

試料中の石綿の繊維の偏光顕微鏡写真（クロスポーラ＋鋭敏色検板）



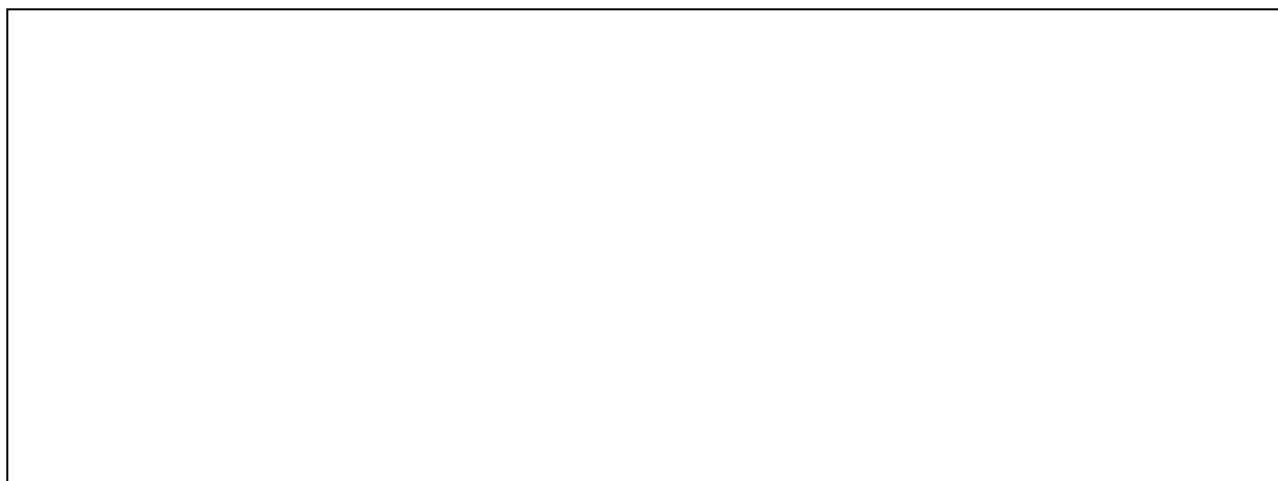
石綿の種類：



石綿の種類：

別添写真\_\_\_\_\_

\* 電子顕微鏡法による分析用試料の繊維の写真及びEDXスペクトル



## 1. 偏光顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・形式	製造業者	
	形式	
コンデンサ	形式	
対物レンズ	形式	

## 2. 試料採取履歴（詳細）

採取年月日	年	月	日	試料 No.	
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ、 採取方法)	形状又は材質				
	試料の大きさ				
	採取方法				

## 3. ポイントカウント用試料の作製

使用した分析機器	電気炉		その他( )	
分析機器	分析機器の名称			
	分析機器の製造業者・形式			
分析装置の条件	電気炉	温度(°C)		
		加熱時間(min)		

## 4. 試料の重量濃縮結果

開始時の重量 (g) : W	
灰化後の重量 (g)	
沈殿物の重量 (g)	
浮遊物の重量 (g)	
最終残渣の重量 (g) : R	
ハンドピックされた石綿の重量 (g) : M	
備考	

## 5. ポイントカウント結果

石綿の種類	総ポイント数 : N	石綿ポイント数 : A	石綿の重量% : C

$$C = \frac{100}{W} \times \left( M + R \times \frac{A}{N} \right)$$